

## 令和2年度 保健体育科(保健) 第3学年 シラバス

1	③	健康な生活と病気の予防	・健康は主体と環境の相互作用の下に成り立ち、疾病は主体の要因と環境の要因がかかわり合って発生することを理解させる。 ・健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた食事、運動、休養・睡眠の調和のとれた生活が必要であり、生活習慣の乱れは健康を損なう原因となることを理解させる。	6	関	健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の日常生活を振り返りながら、課題を見つけようしたり、その解決方法を調べようしたりする。					○	○	○
	6				思	健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の知識や日常生活等を振り返り、課題を見つけたり、文献の収集や資料分析などを通して、その解決の方法を選んだりしている。					○	○	
	④				技								
	7				知	健康の保持増進にかかわる生活習慣や喫煙、飲酒、薬物乱用の影響、および感染症などについて、科学的に理解し、日常生活の課題解決に役だつ知識を身につけている。	○						
2		☆言語活動	学習内容をまとめたり発表することができる。										○
	④	健康な生活と病気の予防	・喫煙・飲酒・薬物乱用などの行為は心身にさまざまな影響を与え、健康を損なう原因になること、そのような行為に誘われたときには適切に対処する必要があることを理解させる。	4	関	健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の日常生活を振り返りながら、課題を見つけようしたり、その解決方法を調べようしたりする。					○	○	○
	11				思	健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の知識や日常生活等を振り返り、課題を見つけたり、文献の収集や資料分析などを通して、その解決の方法を選んだりしている。					○	○	
	④				技								
	12				知	健康の保持増進にかかわる生活習慣や喫煙、飲酒、薬物乱用の影響、および感染症などについて、科学的に理解し、日常生活の課題解決に役だつ知識を身につけている。	○						
3		☆言語活動	学習内容をまとめたり発表することができる。										○
		健康な生活と病気の予防	・感染症は病原体が主な要因となって発生し、発生源をなくす、感染経路を遮断する、主体の抵抗力を高めることで予防できることを理解させる。 ・個人と集団の健康は密接な関連があり、相互に影響し合うこと、また、健康を保持増進するためには保健・医療機関を有効に利用することがたいせつであることを理解させる。	6	関	健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の日常生活を振り返りながら、課題を見つけようしたり、その解決方法を調べようしたりする。					○	○	○
	2				思	健康の保持増進のために必要な生活行動や病気の予防について、自分の知識や日常生活等を振り返り、課題を見つけたり、文献の収集や資料分析などを通して、その解決の方法を選んだりしている。					○	○	
	④				技								
	3				知	健康の保持増進にかかわる生活習慣や喫煙、飲酒、薬物乱用の影響、および感染症などについて、科学的に理解し、日常生活の課題解決に役だつ知識を身につけている。	○						
		☆言語活動	学習内容をまとめたり発表することができる。										○
総時数				16									